



## 宍道湖西部浄化センターから新たな肥料が完成しました

### ～ 下水汚泥肥料『しんじ湖ゆうき WEST』の誕生 ～

島根県（宍道湖流域下水道事務所）では、宍道湖西部浄化センター（下水道終末処理場）から発生する下水汚泥を利用した肥料化に向けて、民間事業者3社（(株)クボタ、UBE 三菱セメント(株)、中部エコテック(株)）及び日本下水道事業団と共同※<sup>1</sup>で、国土交通省が実施している下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト※<sup>2</sup>）に応募し採択（研究名称「縦型密閉発酵槽による下水汚泥の肥料化技術に関する実証事業」）され、令和5年度より事業に着手し、施設整備や試作肥料の作成等を行って参りました。その後、各種検証による製造工程の確立、成分調査等の結果などから肥料利用にあたり問題無いことが確認出来たことから、農林水産省に対して肥料登録申請を行い、この度（令和7年7月末）、正式に肥料としての登録が完了しました。



< 縦型密閉発酵槽 >

今後は、来年度以降の本格的な運転開始に向けて、作成した肥料についてJAしまねや地元農家の皆様に利活用して頂けるよう各種説明を行うなど、利用・流通拡大に向けて取り組んで参ります。

#### ■肥料について

- (1) 肥料の種類 : 汚泥肥料
- (2) 肥料の名称 : しんじ湖ゆうき WEST
- (3) 登 録 日 : 令和7年7月25日
- (4) 主成分(%) : 窒素全量 : 3.25%  
りん酸全量 : 4.20%  
加里全量 : 0.99%



< 肥料の作成状況 >

## ■栽培試験について

肥料登録手続きと並行して、島根県農業技術センターの協力により、肥料（『しんじ湖ゆうき』）による栽培試験を実施しました。試験は県が推進する水田園芸作物の一つであるブロッコリーを対象品目とし、化学肥料による慣行区と『しんじ湖ゆうき』を使用した試験区とに分けて栽培を行い、生育状況や収穫量について比較を行いました。結果としては『しんじ湖ゆうき』を用いた場合でも、生育状況・収穫量共に大きな差は無いことが確認されました。

なお、今後、別品目のキャベツについても試験を実施（8月～11月）するとともに、作物体の養分吸収量と栽培跡地土壌の分析を行う予定にしています。

### ＜栽培試験の状況等＞



※1 共同研究体（5者）として公募：代表会社（株）クボタ

※2 国土交通省において、新技術の研究開発および実用化を加速することにより、下水道事業における低炭素・循環型社会の構築やライフサイクルコスト縮減、浸水対策、老朽化対策等を実現し、併せて、本邦企業による水ビジネスの海外展開を支援するため、平成23年度より下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project）が実施されています。

### 島根創生計画[第2期]

VII 暮らしの基盤を支える  
I 生活基盤の確保  
(3) 上下水道の整備と維持管理  
(P91)

### 【県 HP】

（島根創生を進めるための新規・拡充施策（令和7年度版））

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/zaisei/yosan/yosanr7/r7gaivou.data/shinkikakujuR7.pdf>

（島根創生計画[第2期]）

<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku2nd.pdf>

